

## 公立劇場による地域活性化の可能性に関する一考察～石川県能登演劇堂の経済波及効果の検討から

### The Possible Role of a Public Theater in Revitalization : Economic Impact Study of the Noto Theater Temple, Ishikawa Prefecture, Japan

垣内恵美子\*

岩本博幸\*\*

林岳\*\*\*

石川県七尾市(旧中島町)の文化センター(以下「演劇堂」という。)は1995年設立以来、「演劇の町構想」を掲げ、仲代達矢氏主催の無名塾と全面的に協力、連携により演劇に特化した活動を行ってきた。本研究では、観客の属性を把握し、演劇の町構想の重要な柱の一つである経済効果を明らかにするために、2004年に実施された演劇堂第3回ロングラン公演「いのちぼうにふろう物語」観客に対し調査を行った。全国から演劇堂ロングラン公演にやってくる観客は15000人を超え、様々な芸術文化活動に豊富な鑑賞経験を有し、県外客はほとんど石川県内、特に演劇堂のある地域で宿泊することがわかった。これら観客の石川県内の直接消費は少なくとも2億4700万円にのぼり、石川県産業連関表を用いた生産誘発額合計は3億5400万円程度(生産誘発係数1.43)と推定された。

*Keywords:* Theater, Cultural Capital, Regional Revitalization, Economic Impact

劇場, 文化資本, 地域活性化, 経済波及効果

\*GRIPS 教授

\*\*GRIPS 助手

\*\*農業政策研究所